

N.ジェン スマホ振って情報発信

山梨中央銀が商談会で活用

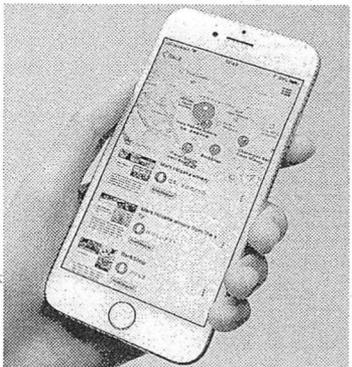
IT企業のN.ジェンが開発した金融機関の商談会をスマートフォンで支援するクラウド

ドサービスが注目されている。7月に山梨中央銀行が開いた「やまなし食のマッチングフェア」で導入し、来場者のスマホに出展情報を配信した。

開発した「インフォグロブ」は、ブースの前でスマホを振ると、情報が画面に出てるといシステム(写真)。位置情報に基づいて「いつどこで閲覧したか」のログ分析もできるため、商談会終了後のフォローにもつながっている。

山梨中央銀は、出展企業全67社で利用。620回の閲覧で昼すぎがピークであったことが判明し、出展企業のウェブサイトへのアクセス数も入手した。開催日を含む1週間以内であれば閲覧できるように設定し、商談会終了後も利用者動向を分析する。

第15回JCB世界大会の講演用レシユメや、ブース資料でも活



用。多言語配信に対応しており、開催中は日本語、英語、フランス語など計約1千回の利用があった。

また、ポスターやデ

ジタルサイネージ(電子看板)を見た利用者にアプリを通じて追加情報を発信することも可能。山竜社長は「アナログとデジタルの融合を目指す。商談会に限らず、さまざまな場面で金融機関を支援していきたい」としている。